

第三十五條 各官廳ハ其需要ニ從ヒ官立府縣立中學校又ハ之ト同等ナル官立府縣立學校及帝國大學ノ監督ヲ受ケル私立法學校又ハ司法省舊法學校ノ卒業證書ヲ有シ及普通試験ニ及第シタル者ニ判任官見習ヲ命スルヘシ

判任官見習ヲ命セラレタル者ハ所屬長官ノ指令スル所ニ就キ二箇年ヨリ短カラサル期限間事務ヲ練習シ判任官ノ缺員ヲ待テ本官ニ任セラレハシ

第三十六條 官立府縣立中學校又ハ之ト同等ナル官立府縣立學校及帝國大學ノ監督ヲ受ケル私立法學校又ハ司法省舊法學校ノ卒業證書ヲ有シ判任官見習ヲ命セラレタル者ハ普通試験期日三十日前ニ左ノ書類ヲ添ヘ主務官廳ニ出願スルヘシ

一 出願者ノ履歷書

一 卒業證書ノ寫

一 身分職業年齡及兵役ニ關スル區區長ノ證書

第三十七條 所屬長官ハ判任官見習官吏ニ必要ナル品位ヲ失ヒタル者ト認ムルトキハ判任官見習ヲ免ズルコトヲ得

第三十八條 本令施行ノ二箇年以上各官廳ニ於テ雇員トナリタル者ニシテ事務ニ熟練シタル者ト本屬長官ニ於テ認ムルトキハ試験ヲ要セス直ニ判任官ニ任スルコトヲ得

第三十九條 本令ハ明治三十二年三月ヨリ施行ス

○文官試験試補及見習規則ニ關スル細則(七月二十五日) 附令第十六號

第一條 高等試験ハ左ノ科目中司法官ハ五科目以上行政官ハ三科目以上ヲ以テ試験ヲ行フ

一 定期トシ試験ノ期日及場所ト共ニ三ヶ月前ニ文官試験局長官官報ヲ以テ之ヲ公布ス

司法官ノ試験ハ一三三四五六七ノ科目中ニテ試験ヲ行フノ科目ヲ定メ行政官ノ試験ハ二三四ノ科目ヲ除キ自餘ノ科目中ニテ試験ヲ行フノ科目ヲ定ム

一 民法 二 訴訟法 三 刑法 四 治罪法 五 商法

六 憲法 七 行政 八 財政 九 理財 十 國際法

第二條 前條ノ科目中本邦ニ成典アルモノヲ除クノ外ハ受験人ハ豫メ文官試験局長官ノ許可ヲ得テ外國ノ書籍ニ依リ試験ヲ受ケルコトヲ得

第三條 高等試験ハ國語及漢字交リノ文ヲ以テ之ヲ行フ特ニ外國語及外國文ヲ以テ試験ヲ受ケルコトヲ願フ者ハ豫メ文官試験局長官ノ許可ヲ受ケルヘシ

第四條 勅令第三十七號文官試験試補及見習規則第三條ノ資格ヲ具スル者ヲ除クノ外教官技術官其他特別ノ學術技能ヲ要スル者ノ試験ヲ爲ストキハ其試験ノ科目ハ試験ノ期日及場所ト共ニ三箇月以前ニ文官試験局長官官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第五條 高等試験ハ勅委任官ニテ文官試験局長官ノ許可ヲ得タル者以外傍聴ヲ許サス

第六條 筆記試験ハ受験人總員ノ一室又ハ數室内ニ閉鎖シ一室毎ニ試験委員一名監視シテ之ヲ行フヘシ但受験人一名ナラバ試験委員二名監視ス

第七條 筆記試験ノ問題ハ試験局長官定ムル所ノ方法ニ依リ各受験人チシテ之ヲ知悉セシメ豫定ノ時間内ニ答辨書ヲ提出サシムルニ依ル

第八條 筆記試験ノ問題ノ數ハ各科目ニ付試験委員ノ議定シタル所ニ依ル

第九條 試験室ニ備ヘ置キ必要ノ参考書類ハ法律類集官報其他公然ノ法章ニ限ル

第十條 口述試験ハ筆記試験ヲ終リタル後試験委員長ノ主席ヲ以テ試験委員總員ノ列席ニ於テ受験人一名毎ニ試問シテ即時答辨ヲ爲サシムルニ依ル

第十一條 口述試験ハ各受験人ニ付半時間以上一時間以内トス

第十二條 高等試験ハ受験人ノ果シテ學理上ノ原則並通曉スルヤ現行ノ法律命令ヲ解得スルヤ又法律命令實務ニ應用シ及之ヲ口述スルニ確實敏捷ナルヤ否ヲ試験スルヲ以テ目的トスヘシ

第十三條 高等試験ニ經タル各科目ノ點數及其全體ノ効果ニ關シ合格者ヲ定ムルハ試験委員ノ議定シタル平均點數ニ依ル

第十四條 普通選考ハ各合格者ニ就キ試験委員長ノ具狀スル所ニ依リ各官廳ノ需要ニ應シ人員ヲ限リ内閣ニ於テ之ヲ定ムルニ依ル

第十五條 前條ノ合格者中ヨリ普通選考ヲ査定スルハ其試験ヲ行ヒタル日ヨリ四週間以内ニ之ヲ終了シ官報ヲ以テ其姓名ヲ公告スベシ

第十六條 試験委員長ハ試験委員ノ職務ニ屬スル議決ノ數ニ入ラズ若シ其議決ニ關シ試験

委員ハ認可首相半ノ委員ニ試験委員長ノ定ムル所ニ依ル

第十七條 受験人ハ其試験ヲ受ケルノ際試験手續ニ關スル規則及試験委員ノ命令ヲ遵守スベシ犯ス者ハ監視ノ試験委員ニ於テ退塞ヲ命ジタルノ後之ヲ試験委員長ニ報告シ其試験ヲ拒ムコトヲ得

第十八條 高等試験ノ手續ニ關スル細目ハ文官試験局長官ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 普通試験ニ關スル細目ハ文官試験局長官ノ認可ヲ經各官廳ノ普通試験委員ノ定ムル所ニ依ル

○閣令第十九號(官報明治二十年七月二十五日)

四箇年以上裁判官檢察官ノ職ヲ奉レ他ニ轉官シ又ハ四箇年以上審事院議官又ハ議官補ノ職ヲ奉レ又ハ四箇年以上司法省ノ民事局長刑事局長又ハ參事官ノ職ヲ奉レタル者及代官ノ試験ニ及第シ五箇年以上代官タル者ハ當分ノ内高等試験及實務練習ヲ要セスシテ司法官ニ任スルコトヲ得

○閣令第二十號(官報明治二十年七月二十五日)

地方現今ノ概況ニ依リ郡區長ノ試験ハ學術ニ偏セス實務ヲ旨トシテ專ク其地ノ狀勢民情及

(雜門) (文官試験規則)

利害ニ通曉スル者ヲ選任スヘキ必要アルヲ以テ郡區長ノ試験科目ハ當分ノ内地方ノ實況ヲ斟酌シテ内務大臣ノ指定スル所ニ依ル

但郡區長ハ高等試験ヲ經タル者ニ非レハ他ノ高等官ト轉スルコトヲ得ス

○**試補及見習ノ待遇並ニ任用ノ件ヲ裁可ス** (明治二十年十一月五日)

本年七月勅令第三十七號文官試験試補及見習規則ニ據リ試補見習ヲ命セラレタル者ノ待遇ハ試補ヲ委任シテ見習ヲ判任トス
同則ニ據リ試補及見習ヲ本官ニ任用スルニハ試補ハ委任官四等以下トシ見習ハ判任官五等以下トス

○**教官技術官ノ資格ヲ有スル者ヲ以テ行政官ニ任用スルノ件ヲ裁可ス**

勅令第五十八號 (官報二十年十一月七日)
各般ノ學務及特別學術技藝ニ關スル行政官ハ教官技術官ノ資格ヲ有スル者ヲ以テ之ニ任用スルコトヲ得

○**閣令第二十三號** (官報二十年十一月八日)

本年七月勅令第三十七號文官試験試補及見習規則第二十九條在職判任官ニシテ直ニ本官ニ任スルヲ得ル者ハ在職三年ニ滿ル者ニ限ル若三年ニ滿サル者ハ先試補ニ任用シ前後通算シテ三年ニ滿ルヲ待テ本官ニ任スルモノトス

○**判任官高等試験ヲ受クルコトヲ得ルノ件ヲ裁可ス** (明治廿年十二月廿六日)

本年七月勅令第三十七號文官試験試補及見習規則施行ノ後五箇年間ハ五箇年以上官務ニ從事シ判任官五等以上ニ叙セラレタル者ハ同則第十七條第五項ニ準シ高等試験ヲ受クルコトヲ得其當選シタル者ハ本官ニ任スルハ同則第二十九條ニ據ル

○**閣令第二十八號**

本年七月勅令第三十七號文官試験試補及見習規則第廿條ニ據リ別段ノ試験法ヲ定ムルマテハ技術官及特別ノ學術技藝ヲ要スル者ヲ任用スルハ左ノ例規ニ依ルヘシ
一 委任官ハ本則第三條ニ準シ各種ノ學術技藝ニ就キ一定ノ資格アル者又ハ第十七條ニ準シ其經歷ニ依リ相當ノ資アリト認ムベキ者ヲ選ビ本人ノ履歷學術技藝ニ關スル證書ノ寫身分年齡等豫メ文官試験局長官ノ詮衡ヲ經テ後各省大臣ヨリ奏聞シ手續ニ及フヘシ

一判任官ハ本則第四條ニ準シ各種ノ學術技藝ヲ修メ一定ノ資格アル者ヲ命シ其他ノ者ハ
 經歷ニ依リ相當ノ資格アリト認ムル者ヲ選ヒ本人ノ履歷學術技藝ニ關スル證書ノ寫
 身分年齡等豫メ普通試驗委員長ノ調査ヲ經テ之ヲ命スルハシ
 本年七月勅令第三十號文官試驗試補及昇習規則其他之ニ關スル法令中試驗ニ關スル條項ノ
 外通則試補判任官昇習ニ就キ規定シタルモノノ外技術官及特別ノ學術技藝ヲ要スルモノニ
 準適用スルモノトス

○內務省訓令第三十七號

府 縣

明治十九年勅令第六十五號同年閣令第三十五號ノ學校職員及郡區書記戶長等國庫費支辨
 ニ屬スル用務ヲ以テ旅行セシムルトキ學校職員ハ其委任待遇ヲ受クルモノ年俸千圓月俸ハ
 改算已上ノ三等旅費年俸千圓未満ハ四等旅費判任待遇ヲ受クルモノ月俸四十圓ニ改算ス
 已上ハ五等旅費月俸四十圓未満ハ六等旅費郡區書記戶長ハ其官等ニ準ジ相當旅費ヲ同年閣令
 第十四號內國旅費規則ニ依リ支給スルニシ

○內務省訓令第十五號

北海道廳府縣(沖繩縣)

郡區書記ノ旅費ハ閣令第十四號內國旅費規則ニ據リ六等旅費ヲ支給スルニシ
 但地方ノ情況ニ據リ認可經テ定額ノ旅費ヲ節減スルコトヲ得

○失踪逃亡死亡遺留財產ノ處分(十二年十一月廿六日)

失踪死亡遺留財產處分ノ儀ニ付太政官裁令ノ趣左ノ通內務省ヨリ通知有之候條爲心得此旨
 相違候事

○內務省ヨリ通知(十一年二月)

失踪并ニ死亡跡遺留財產處分ノ儀ニ付別紙寫ノ通太政官ノ伺候處即チ朱書ノ通指令相成依
 テ爲御心得此段及御通知候也
 別紙

○內務省ヨリ太政官ノ伺(明治十一年)

失踪並ニ死亡跡遺留財產處分ノ儀ニ付テハ遺々御指令ノ次第モ有之即令當省ニ於テ右御
 指揮ニ準據シ各府縣へ及指令候得共猶應當ナラサハ廉モ有之更ニ左ノ通更定致度相伺候
 一失踪逃亡者遺留ハ家族ニテ保管シ家族ナキハ親族親族ナキハ區戶長役場ニテ保管
 二遺留ノ負債ノ儀ハ其債權者ノ取計ハズル例ニ有之(岡山縣同租稅未納ノ者既走還
 三遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト
 四遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト
 五遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト
 六遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト
 七遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト
 八遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト
 九遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト
 十遺留ノ債權者ノ債權者ノ債權者ノ種々差支ノ廉モ有之ニ付以來ハ保管財產中借入質ト

(雜門)

(失踪逃亡死亡遺留財產ノ處分)

シ官没ノ處分ニ及候様致度
 一 死亡跡相候人無之遺産ハ三十六ヶ月ヲ待タズ直ニ官没シ負價アルルキハ償却スル例ニ有
 之 (第二條別註御指令) 候處右負價償却處分區別ノ儀ハ第一條ノ通取計ハ七候様致度
 右ハ各府縣ヨリ續々伺出候事件有之候ニ付至急御裁令被下度候也
 ○指令 (十一月十一日)

第一項 區戸長ニ保管スル財産中負價償却處分ノ儀ハ其書入買公證ノ有無ニ拘ハラヌ都
 第二項 テ裁判上ノ處分ニ任シ區戸長ハ之ヲ保存スルニ止ルヘシ
 第三項 追テ法律制定マテハ官没ノ處分ヲ爲サズ本人歸來セハ其財産ヲ返付スヘシ
 負價償却處分ノ儀ハ第一項指令ノ通

○諸願届文例

○出生届

何縣何區何村何番地
 族氏名何男)

父 氏 名
 母 氏 名
 何男
 何女

右者何月何日出生致候間加籍相成度此段及御届候也

年 月 日

右(戸主) 氏 名

何縣何區何村何番地

何縣何區何村何番地
 族氏名何女)

父 氏 名
 母 氏 名
 何男
 何女

右者何月何日出生致候間加籍相成度此段及御届候也

年 月 日

右(戸主) 氏 名

○私生子出生届

何縣何區何村何番地
 族氏名何女)

父 氏 名
 母 氏 名
 何男
 何女

右者何月何日出生致候間加籍相成度此段及御届候也

年 月 日

右(戸主) 氏 名

母

私生子何男

孫 氏 名

右者何月何日出生致候間加籍相成度此段及御届候也

右戸主

年 月 日

氏 名

何縣何區何村何番地
 族氏名何男)

(同上)

○結婚入籍届

何縣何區何村何番地
 族氏名妻(婦)

(雜門)

(諸願届文例)

(何男名妻)

右者何府何區何町何番地族氏名何女ヲ娶リ候ニ付入籍相成度此段及御届候也
何年何月何日生

右(戸主)

年月日
何郡
區長戸長氏名殿
氏名

○縁女入籍届

何府何區何町何番地

族氏名何男女縁女

名

右者何縣何村(何町)何番地族氏名何女ヲ貰受候間入籍相成度此段及御届候也
何年何月何日生

右戸主

年月日
何郡
區長戸長氏名殿
氏名

○養子入籍届

何府何區何町何番地
族氏名養子

名

右者何縣何郡何村何番地族氏名何女ヲ貰受候間入籍相成度此段及御届候也
何年何月何日生

年月日
何郡
區長戸長氏名殿
氏名

○携帶者入籍届

何府何區何町何番地

族氏名夫名何男

名

右者何縣何郡何村何番地族氏名何女ヲ父名結婚ニ付携帶致候間入籍相成度此段及御届候也
何年何月何日生

年月日
何郡
區長戸長氏名殿
氏名

(雜門) (簡願届文例)

何郡長戸長氏名殿

○親族入籍届

何府何郡何町何番地

族氏名何父母兄弟

名

何年何月何日生

右ハ何府縣何區何町何番地族氏名伯叔父母從兄弟姉妹(亡)父名何母子實父母兄弟付引受候間入籍相成度此段及御届候也

右

氏

名

印

年月日

何郡長戸長氏名殿

○私生子引受入籍届

何府何郡何町何番地

族氏名子

名

右何縣何郡何町何番地族氏名何女私生何男子實子付引受候間入籍相成度此段及御届候也

右

氏

名

印

年月日

何郡長戸長氏名殿

○離婚復籍届

何府何郡何町何番地

族氏名何男女

名

何年何月何日生

右ハ何府縣何郡何町何番地族氏名夫妻離婚復籍ニ付入籍相成度此段及御届候也

右戸主

氏

名

印

年月日

何郡長戸長氏名殿

○親子女離縁復籍届

(雜門)

(附届文例)

何府何郡何村何番地
族氏名何男(兄)(弟)(姉)(妹)
(亡)(父名何男)

右者何府何郡何村何番地族氏名相續人離縁復歸ニ付入籍相成度此段及御届候也
何年何月何日生

年月日

何區長戸長氏名殿

○離縁復歸ニ付携帶者入籍届

何府何郡何村何番地
族氏名(孫)(甥)(姪)
(父)(母)名何男

右者何縣何郡何村何番地族氏名何男(兄弟名)離縁復歸ニ付携帶致候間入籍相成度此段
何年何月何日生

及御届候也

年月日

何區長戸長氏名殿

○分家入籍届

(亡)(父名何男)

何年何月何日何府何郡何村何番地
何番地族氏名何男(兄弟名)

右者何府何郡何村何番地族氏名何男(兄)分家致候ニ付入籍相成度此段及御届候也

年月日

右地主(差配人)
氏名 印

(雜門) (諸届文例)

何郡長戸長氏名殿

○分家者復歸入籍届

何府何郡何町何番地
族氏名何男

名

何年何月何日生

右者何府何區何町何番地へ分家ノ處廢家願濟ニ付復歸致候間入籍相成度此段及御届候也

右戸主

氏

名

印

年月日

何郡長戸長氏名殿

○附籍者入籍届

何府何郡何町何番地
族氏名附籍

族

氏

名

何年何月何日生

右者何縣何郡何村何番地(氏名附籍)ヨリ附籍(換)致候間入籍相成度此段及御届候也

附籍人

氏

名

印

右

氏

名

印

右地主(差配人)

氏

名

印

何郡長戸長氏名殿

○附籍者別立入籍届

何郡(區)何町何番地

族

前戸主氏名

名

何年何月何日生

右者何府何區何町何番地族氏名附籍ノ處別立致候間入籍相成度此段及御届候也

(雜門) (附籍届支例)

年月日

右 氏 名 ①

右地主(差配人) 名 ②

氏 名 ③

何區長戶長氏名殿

○絕家再興入籍届

何郡(區)何町(村)何番地

族

前戶主亡養父母氏名

氏 名

何年何月何日生

右者何縣何郡何村何番地族氏名何女男今般何府何區何町何番地族亡氏名ノ絶家ヲ再興致候間入籍相成度此段及御届候也

年月日

右 氏 名 ④

右地主(差配人)

氏 名 ⑤

何區長戶長氏名殿

○轉住入籍届

何郡(區)何町何番地

族氏名方同居

族 氏 名

前戶主氏名

氏 名

何年何月何日生

妻 名

何年何月何日生

長女 名

何年何月何日生

右者何縣何郡何村何番地ヨリ轉住致候間入籍相成度此段及御届候也

年月日

右 氏 名 ⑥

(雜門) (附屬文例)

氏。名。印
右地主(差配人) 氏 名 印

何郡長戸長氏名殿

○死亡届

何郡何村(何寺院)(共葬墓地)
埋葬地(何郡何村何所ニ於テ火葬ハ
上何區何町何寺院(埋葬)

何郡(區)何町何番地
族(氏名)何男女) 氏 名

何年何月何日生

右何年何月何日病死致候ニ付除籍相成度別紙醫師
診察書相添此段及御届候也

年月日

戸主死亡シテ親族ヨリ届出ルノ例但
全居ノ親族ニアラサルキハ共住所族
籍ヲモ記スベシ

右 氏 名
右氏名亡妻 名 印
印形無之ニ付自書ス
右氏名亡何男 名 印

何郡長戸長氏名殿

(此ハ戸主未定又ハ不在ナルトハ親族二人以上又ハ其母ニ關係ア
ル者ヨリ埋葬以前ニ届出ノコト但親族トハ同居ノ親族ヲ含ハス)

○死體分娩届

何郡(區)何町(村)何番地
族氏名妻名(婦名)分娩
(何男名妻名)
男 (女) 子
在胎何ヶ月

右何月何日死體分娩致候間別紙醫師
死産證相添此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(全上)

○流産届

何郡(區)何町(村)何番地
族氏名妻名 産
流産
在胎何ヶ月

埋葬地(全上)

(雜門) (諸願届文例)

右何月何日流産致候間別紙^{醫師}流産證相添此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(全上)

右
氏名 名 印

○^{入夫妻}送籍届
^{縁子女}

何(郡區)何町(村)何番地

族氏名何^{兄弟姉妹}

(亡)(父名何男女)

名

何年何月何日生

右者何縣何郡何村何番地族氏名^入 ^{縁子女} ^{夫妻} ^{子女} 差遣候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

右戸主
氏名 名 印

○相續人送籍届

何郡(何區)何(町)何(村)何番地

族氏名何^{兄弟姉妹}

(父名何男女)

名

何年何月何日生

右ハ何府何區何町何番地族氏名(兄弟姉妹)ニ付相續人ニ差遣候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

右戸主
氏名 名 印

○^{入夫妻}送籍ニ付携帶者届
^{縁子女}
^{相續人}

何郡(區)何町何番地

族氏名^{兄弟姉妹}

何男女(兄弟姉妹)名何男女

名

何年何月何日生

(雜門) (諸願届文例)

右名何府何郡何村何番地族氏名^人 ^夫 ^妻 ^人 ^{差遣候} = 付名^夫 携帶為致候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

右戸主

名 印

○入夫(妻) 送籍届
相續人 離縁

何郡(區)何町何番地
族氏名^人 ^夫 ^妻 ^人

何年何月何日生

右、何縣何郡何町何番地族氏名方^{離縁} 復歸為致候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

右

名 印

○入夫(妻) 送籍届
相續人 離縁 = 付携帶者送籍届

何郡(區)何町何番地
族氏名男(女)(孫)

(養子名何男女)

名

何年何月何日生

右名何縣何郡何村何番地族氏名方^{離縁} 復歸 = 付名^夫 携帶為致候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

右戸主

名 印

○分家送籍届

何郡(區)何町何番地
族氏名何男女(兄弟姉妹)
(亡)(父名何男女)

名

何年何月何日生

(雜門) (諸願届文例)

右ハ何府何區何町何番地ハ分家爲致候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何區長戸長氏名殿

右戸主

氏名

印

○附籍者別立送籍届

何郡(區)何町何番地

族氏名附籍

族

氏名

何年何月何日生

右ハ何縣何郡何村何番地ハ別立致候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何區長戸長氏名殿

右附籍人

氏名

戸主

氏名

印

○絶家再興籍届

何郡(區)何町何番地

族氏名何男

名

何年何月何日生

右者何縣何郡何町何番地ニ於テ絶家何氏ヲ再興爲致候間送籍相成度此段及御届候也

年月日

何區長戸長氏名殿

右戸主 氏名

印

○轉住送籍届

何郡(區)何町何番地

族氏名方同居

族

氏名

何年何月何日生

(轉門) (附籍届文例)

何年何月何日何府何區何町
何番地族氏名何女ヲ奉ル

全上

一三六四

父 名

何年何月何日生

母 名

何年何月何日生

妻 名

何年何月何日生

何女 名

何年何月何日生

右ハ何縣何郡何村何番地へ轉住致候間送籍相成度此段及御届候也

年 月 日

右

氏 名

戸主

氏 名

右地主(差配人)

氏 名

何郡 長戸長氏名殿

○廢戸主届

何郡(區)何町何番地

族

氏 名

右

氏 名

何區何町何番地

氏 名

親族何々
續柄何々

何郡 長戸長 名殿

(願書指令受領ノ當日ヨリ
十日以内ニ届出ベシ)

右何月何日廢戸主願濟ニ付此段及御届候也

年 月 日

○退隠跡相續届

何郡(區)何町何番地

族

氏 名

父 名

(職門)

(前願書文例)

一三六五

右父名選隠長男名相續致候間此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

右

氏

名

印

氏

名

印

○亡跡相續届

何郡(區)何町何番地

族亡父氏名何男

氏

名

右

氏

名

印

右父名何月何日死亡ニ付親族協議ノ上何男名相續致候間此段及御届候也

年月日

亡親父名

名

印

印形無之ニ付自書ス

何郡(區)何町何番地

氏

名

印

親族
何々族

何郡長戸長氏名殿

○失踪相續届

何郡(區)何町何番地

族氏名何男

氏

名

右父失踪後何箇年經過ニ依リ何月何日願濟相續致候間此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(此ハ願濟指令ノ當日ヨリ十日以内ニ届出ベシ)

右

氏

名

印

○廢納届

何郡(區)何町何番地

族氏名何男

氏

名

右名廢納ノ儀何月何日願濟ニ付此段及御届候也

(雜門) (諸届文例)

年月日

何郡長戸長氏名殿

(此ハ願書指令受領ノ當日ヨリ十日以内ニ届出ヘシ
戸主不在ナルトキハ親族二人以上ヨリ届出ベシ)

右

氏

名

印

○庶子立籍届

何郡何町何番地

族氏名何男

名

右父名母名結婚入籍ニ付嫡子ト致候間此段及御届候也

年月日

右

氏

名

印

何郡長戸長氏名殿

○失踪届

何郡(區)何町何番地

族(氏名)(何男)

族(氏名)(何男)

族(氏名)(兄弟)

氏名

右者何月何日(家出ノ儘)(何地ハ旅行何月何日何地ヨリ音信ノ儘)所在不分明依テ失踪ノ儘

ト存候間此段及御届候也

年月日

右

氏

名

印

右氏名何男

氏

名

印

何郡長戸長氏名殿

(失踪全戸ナルハ親戚ヨリ戸主ナルキハ
家族親戚ヨリ届出ベシ)

○失踪者復歸届

何郡(區)何町何番地

族(氏名)(何男)

氏

名

右者(何年何月何地ニ於テ病氣ニ罹リ)(何々ノ事故ニ依リ)音信ヲ不仕ニ付何年何月何日失
踪御届相成居候所何月何日歸宅致候間此段及御届候也

右戸主

(雜門) (諸願届文例)

年月日

何郡長戸長氏名殿

(此戸主未定又ハ不在ナルトキハ親族
二人以上ヨリ十日以内ニ届出ヘシ)

氏名 ①

一三七〇

○失跡者所在分明届

何郡何町何番地
族氏名伯叔父

右ハ何年何月何日失跡ノ儀及御届置候處何府縣何郡何區何村何番地ニ現在ノ旨何月何日承
知候ニ付此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(其行方知レタル日ヨリ
十日以内ニ届出ベシ)

右 氏名 ①

○改名届

何郡(區)何町村何番地

右ハ何月何日願濟齋稱何名ヲ改メ候間此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(願書指合受領ノ當日ヨリ
十日以内ニ届出ベシ)

右 族 氏名 ①

○復姓届

何郡(區)何町何番地

右ハ何月何日願濟齋姓何チ原姓何ニ復シ候間此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(同上)

右 族 氏名 ①

(雜門) (諸願届文例)

一三七一

○身分變換届

一三七三

何郡(區)何町何番地
族 氏 名

右ハ平民ノ處何月何日士族編入セラレ候間別紙何書寫相添此段及御届候也

年月日

何區長戸長氏名殿
(同上)

右 氏 名 印

○身分變換届

何郡(區)何町何番地

族

氏 名

右ハ士族ノ處何月何日願濟平民ニ歸入致候間此段及御届候也

年月日

右 氏 名 印

何區長戸長氏名殿

(同上)

○廢家届

何郡(區)何町何番地

族

氏 名

右ハ何月何日願濟廢家致候間此段及御届候也

年月日

何區長戸長氏名殿

(同上)

右 氏 名 印

○戸籍訂正届

何郡(區)何町何番地

族氏名何男(伯叔父母從)
女(兄弟姉妹)

氏 名

(續門)

(諸願届文列)

一三七三

右(戸主トノ續柄何ハ何ノ錯誤ニ候處)(生年月日ニ何月トアハ何月ノ誤ニ候處)(何某字ハ某字ノ誤ニ候處)何月何日訂正願濟ニ付此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(同上)

○入寄留届

何郡(區)何町何番地持家寄留

何縣何郡何村何番地原籍

族亡親父氏名
族亡親母氏名

戸主 氏 名

何年何月何日生

亡父名妻 母 名

何年何月何日生

妻 名

何年何月何日生

何女 名

何年何月何日生

亡父名何女 妹 名

何年何月何日生

右

年月日

(地主ノ遺囑ハ借地
借家寄留ニ限ル)

何郡長戸長氏名殿

(戸主ノ分此ハ寄留ノ日
ヨリ十日以内届出ベシ)

○入寄留届

何郡(區)何町何番地持家寄留

何區何町何番地原籍

族亡親父氏名
族亡親母氏名

世帯主 氏 名

何年何月何日生

(雜門) (踏届届支例)

妻 名 何年何月何日生

右何月何日ヨリ寄留致候間此段及御届候也

年月日

右

(地主)(家主)
(地所)(管理人)

氏 名 氏 名 氏 名 氏 名 印 印

何郡長戸長氏名殿

(世帯ノ分同上)

○入寄留届

何郡(區)何町何番地氏名方被雇寄留
何縣何郡何村何番地原籍

族(氏名何男)

氏 名

何年何月何日生

右何月何日ヨリ寄留致候間此段及御届候也

年月日

右

氏 名

印形無之ニ付自書

右雇主

氏 名 氏 名 氏 名 氏 名 印 印

(地主)(家主)
(地所)(管理人)

何郡長戸長氏名殿

(世帯ヲ爲セ、ル分同上)

○家族者入籍寄留

何郡(區)何町何番地持家寄留

何縣族戸主氏名何男

名

何年何月何日生

右何月何日ヨリ寄留致候間此段及御届候也

(雜門) (諸願届文例)

年月日

戶主

(地主)(家主)
(地所管理人)

何郡長戸長氏名殿

右

氏名 氏名 氏名
(印) (印) (印)

○出寄留届

何郡(區)何町何番地原籍
族

氏名 妻名 何男名

右ハ何月何日ヨリ何府縣何郡區何町村何番地持地持家持家へ寄留致候間此段及御届候也

年月日

右何府縣何郡區何町村何番地

氏名 (印)

(地主ノ借留ハ借地
借家ノ寄留ニ限ル)

(地主)(家主)
(地所管理人)

何郡長戸長氏名殿

(是ハ他府縣地所區へ寄留シタル日ヨリ
十日以内ニ寄留地ヨリ發送スベシ)

氏名 (印)

○寄留退去届

何郡(區)何町何番地借家寄留

何縣族(氏名何女)
氏名 妻名 何男名

右ハ何月何日退去致候間此段及御届候也

年月日

(地主)(家主)
(地所管理人)
氏名 (印)

何郡長戸長氏名殿

(雜門) (附屬届文例)

(退去當日ヨリ十日以内ニ届出ヘシ)

○寄留者退去届

何郡(區)何町何番地

何縣族(氏名何^男女)

氏名

右何月何日退去致候間此段及御届候也

右

氏名 印

年月日

何郡長戸長氏名殿

○出寄留者歸住届

何郡(區)何町何番地

族(氏名何^男女)

氏名

右ハ何縣何郡何村何番地寄留ノ處何月何日歸住致候間此段及御届候也

右(戸主)

年月日

何郡長戸長氏名殿

(歸住當日ヨリ十日以内ニ届出ヘシ)

氏名 印

○後見届

何郡(區)何町何番地

族

氏名

右氏名幼年(白痴)ニ付親族協議ノ上何區何町何番地族氏名ヲ以テ後見人ト相定候ニ付此段及御届候也

何郡(區)何町(村)何番地族

親族 氏名 印

年月日

全柄何^上 氏名 印

右後見人

氏名 印

何郡長戸長氏名殿

(雜門) (附願届文例)

(同家族内ニ於テ實父ノ後見ヲ爲ス
組合ニ於テハ親族ノ協議ヲ要セス)

○後見人變換届

何郡(區)何町何番地
族氏名後見人

氏名

右氏名後見人氏名ヲ解除シ更ニ親族協議ノ上何區何町何番地族氏名ヲ以テ後見人ト相定候
ニ付此段及御届候也

何郡(區)何町(何)村番地

親族
和稱何々 氏名

年月日

同上 氏名

同上 氏名

右後見人 氏名

元後見人 氏名

何區長戸長氏名殿

氏名 印

○後見解除届

何郡(區)何町何番地
族

氏名

右後見人 氏名

右氏名後見人ノ處本月氏名丁年ニ到リ候ニ付後見解除致候間此段及御届候也

右 氏名

年月日

右 氏名 印

氏名 印

何區長戸長氏名殿

○止宿人届

何縣何郡何町何番地原籍
族

(雜門)

(諸願届文例)

氏名

何年何月何日生

右ハ何月何日ヨリ自分方へ止宿爲致候間此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

(本人止宿九十日ヲ経過スルハ直チニ
本人ヨリ寄留届ヲ提出サシムヘシ)

何區何町何番地
氏名 印

○止宿人退去届

何縣何郡何町何番地族

氏名

右ハ何月何日ヨリ自分方ニ止宿爲致候處何月何日退去致候間此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

何區何町何番地
氏名 印

○旅行届

何郡(區)何町何番地

族

氏名

右ハ何月何日ヨリ何縣何郡何町何番地氏名方へ日數何日間ノ見積ヲ以テ旅行致候間此段及御届候也

年月日

何郡長戸長氏名殿

右
氏名 印

○留守引受人届

何郡(區)何町何番地

族

氏名

右ハ何縣何郡何町何番地氏名方へ(寄留)旅行致候ニ付何區何町何番地族氏名ヲ以テ留守引受人ト相定候間此段及御届候也

右

氏名 印

(雜門) (附屬届文例)

年月日

右留守引受人

氏名 印

何郡長戸長氏名殿

○旅行立戻届

何郡(區)何町何番地

族

氏名

右ハ何月何日ヨリ何地方へ旅行ノ處何月何日立戻候ニ付此段及御届候也

年月日

右

氏名 印

何郡長戸長氏名殿

○印鑑届

何郡(區)何町何番地

族

氏名

印鑑 印

右印鑑及御届候也

年月日

右

氏名 印

何郡長戸長氏名殿

(家族内ノ印鑑届ハ戸主必ス連署スベシ)

○改印届

何郡(區)何町何番地

族

氏名

印鑑 印

右ハ舊印(欠損紛失焼失)ニ付印鑑ノ通改刻致候間此段及御届候也

年月日

右

氏名 印

何郡長戸長氏名殿

(全上(紛失遺失)ノ節ハ警察署
へ届済ノ旨ヲ追記スベシ)

○改肉届

(雜門)

(諸届届文例)

何郡(區)何町何番地
族

氏名

右

氏名 印

右ハ黒肉ヲ朱肉ニ改メ候間此段及御届候也

印鑑

年月日

何郡長戸長氏名殿

○兵事諸願届書式

國民兵異勳届

何郡(區)何町何番地
(何某同居)

(族) (戸主)

(何某)(何男)(兄弟)(甥)(從弟)(附籍)

何職業

何 某

何年何月何日生

明治何年何月何日何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地
(何某同居)ヨリ遷居入籍

右及御届候也

右戸主

何 某 印

年月日

何郡長戸長氏名殿

國民兵異勳届

何郡(區)何町何番地

(何某同居)

(族)

(何某死後養子)(嗣子養子)(養子)

(何女誰養子)何職業

何 某

何年何月何日生

明治何年何月何日何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地
(何某同居)(華)(士)(平民)何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)ヨリ入籍

右及御届候也

右戸主

何 某 印

年月日

何郡長戸長氏名殿

徵兵異 助 屈

一三九〇

何郡(區)何町何番地
(何某同居)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)

何職業

何 某

何年何月何日生

右 及 御 屈 候 也

年 月 日

何 區 長 戶 長 氏 名 殿

徵 兵 異 助 屈

何郡(區)何町何番地
(何某同居)(族)

右 戶 主
何

某 印

右 及 御 屈 候 也

年 月 日

何 區 長 戶 長 名 殿

現 役 兵 異 助 屈
補 充 員

此 届 書 ハ 第 一 師 管 内
ヨリ 轉 籍 全 戶 留 留 セ
シ 者 ハ 人 別 表 添 エ ル
コ 及 ハ ス

何 年 徵 兵 (現 役 補 充 員) 何 兵 第 何 番
(何 年 第 一 豫 備 徵 員)

(雜 門) (兵 事 諸 願 届 書 式)

職 業

何 某

何 年 何 月 何 日 生

右

何 某 印

(第 一 豫 備 徵 員)

何 府 (縣) 何 國 何 區 何 町 何 番 地

(何 某 同 居)

(族) (戶 主)

何 某 (何 男) (兄) (弟) (甥) (從 弟) (附 籍)

何 職 業

何 某

一 三 九 一

右今般何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何(番地)何(某同居)ヨリ(轉籍)(至戶寄留)致候間(人別表相添)此段及御届候也

年月日

何縣駐在官官姓名殿

右戶主

何 某 印

現役兵 異 勤 届
補充員

(第一豫備徵員)

何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何(番地)

(何某同居)

(族)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)

何職業

何 某

何年徵兵(現役)何兵第何番
(補充員)
(何年第一豫備徵員)

右ハ今般(何某死後養子)(私嗣子養子)(養子)(養女誰養子)(入夫)ニ入籍致候間人別表相添此段及御届候也

年月日

何縣駐在官官姓名殿

戶主 何 某 印

(現役兵)
(補充員)復籍届
(第一豫備徵員)

何縣何國何町何番何地

(何某同居)

(族)何職業

何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何(番地)

(何某同居)

(族)(戶主)

何某養嗣子(養子)(何女誰養子)
(入夫)

何職業

何 某

何年徵兵(現役)何兵第何番
(補充員)
何某何年第一豫備徵員

右ハ今般離縁私(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)(附籍)ニ復籍致候間人別表相添此段及御届候也

(雜門) (兵事諸願届書式)

何府何國何郡何町何番地
(何某同居)

(族)何職業
戶主 何 某 印

何府駐在官官姓名殿

(現役兵)
(補充員)異動届
(第一預備役員)

何府(縣)何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)職業

何 某

何年徵兵(現役)何兵第何番

(何年第一預備役員)

右、今般何(府)(縣)(何郡)(區)(何町)(村)(何番地)(何某同居)(華)(士族)(平民)(何某何男)

(兄)(弟)(甥)(從弟)(附籍)ヨリ分家ノ上入籍致候間人別表相添此段及御届候也

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)(職業)

年月日

何縣駐在官官姓名殿

何 某 印

(轉)全戸寄留届
(單身寄留)

某 儀

今般何(府)(縣)(何郡)(區)(何町)(村)(何番地)ヨリ(轉籍)(全戸寄留)(單身寄留)致候間此段御届申候也

何府何國何郡何町何番地住

年月日 何年徵兵何兵第何番
何年(預備)(後備役) 何 某

何縣駐在官官姓名殿

(從)子届
(相續人)

何府何國何郡何町何番地

(族)職業

何年徵兵何兵第何番
何年(預備)(後備役) 何 某

右、何月何日何(府)(縣)(何郡)(區)(何町)(村)(何番地)(何某同居)(華)(士族)(平民)(何某

(籍門) (兵市諸類用書式)

(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)ヲ私(嗣子養子)(養子)(何女誰娶養子)(入夫)ニ貰受候間人別表相添此段及御届候也

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)職業

戸主 何 某 印

年月日

何區駐在官官姓名殿

復籍届

何府何國何郡何町何番地

(族)職業

明治何年徵兵何兵第何番 何 某

何年豫備(後備役)何等卒

右者何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何(地)(華)(士族)(平民)何(職業)何(某)(嗣子養子)(養子)何(女)誰(娶)養子(入夫)ノ處何(月)何(日)離縁私(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)ニ復籍致候ニ付別紙人別表相添此段及御届候也

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)職業

戸主 何 某 印

年月日

何區駐在官官姓名殿

○分家届

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)職業

何 某

何年徵兵何兵第何番何年

(豫備)(後備)役何等卒

右者今般何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何(番地)(華)(士族)(平民)何(某)(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)(附籍)ニ分家致候間人別表相添此段御届申候也

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)職業

何 某 印

年月日

何區駐在官官姓名殿

(雜門) (兵陣歸願書式)

(國民兵)異動屆

何府何國何郡何町何番地
(何某同店)

(族)(戶主)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)(附籍)
何職業

何 某

何年何月何日生

右及御届候也

明治何年何月何日何(府)(縣)(何(郡)
(區)(何(町)(村)(何番地)(何某同居)
轉居送籍

年月日

何郡長戶長姓名殿

右戶主

何

某

印

(國民兵)異動屆

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)戶主

何某(養嗣子)(養子)(何女誰迎養子)

(入夫)

何職業

何 某

何年何月何日生

右及御届候也

何年何月何日何(府)(縣)(何(郡)
(區)(何(町)(何番地)(華)(士族)(平
民)(何某方)離縁送籍

年月日

何郡長戶長姓名殿

右戶主

何

某

印

(國民兵)異動屆

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)

(雜門)

(兵隊歸附届書式)

何年何月何日分家、上何(府)(縣)
(何)(郡)(區)(何)村)(町)何番地
(何某同居)送籍

何某何男(兄弟)(甥)(從弟)(附籍)職業
何
何年何月何日生

右及御届候也

右戶主

何 某 印

年月日

何區郡長戶長姓名殿

(現役兵)異動届

(第一豫備徵員)

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)(戶主)

何某(何男)(兄弟)(甥)(從弟)(附籍)

何職業

何年徵兵(現役)何兵第何番

(何年第一豫備徵員)

右今般何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)村)何番地、(何某同居)(轉籍)(全戶寄留)致候間此
段及御届候

右戶主

何 某 印

年月日

何縣駐在官官姓名殿

(現役兵)異動届

(第一豫備徵員)

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)(戶主)

何某(養嗣子)(養子)(何女誰

親養子)(入夫)

何職業

何 某

何年徵兵(現役)何兵第何番

(何年第一豫備徵員)

(雜門) (兵事附届書式)

右ハ今般離縁生家何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地(何某同居)(華)(士族)(平民)何某方ニ復籍送籍候間此段及御届候也

年月日

何縣 駐在官官姓名殿

右戸主

何 某 印

(現)役兵 異動届
(補充)員
(第一豫備)員

何府 何國何區何町何番地
(何某同居)

(族)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)(附籍)

何職業

何 某

何年徵兵(現)役(補充)員 何兵第何番

(何年第一豫備)員

右ハ今般分家ノ上何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)何番地(何某同居)ニ送籍候間此段及御届候也

年月日

何縣 駐在官官姓名殿

右戸主

何 某 印

(轉)全戸寄留 届
(單身)寄留

某 印

今般何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地(轉籍)(全戸寄留)(單身寄留)致候間此段御届申候也

年月日

何縣 駐在官官姓名殿

何府 何國何區何町何番地住

何年徵兵何兵第何番
何年(豫備)後備)役何年 何 某 印

(養)子 離縁届
(相)組人

何府 何國何區何町何番地
(何某同居)

(族)

(雜門) (兵車附屬)式

何某(嗣子養子)(養子)
 (何女能養子)(入夫)
 何職業
 何 某
 何年徵兵何兵第何番
 何年(豫備)(後備)役何等卒
 右(何月何日離緣生家何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地(何某同居)(華)(士族)(平民)何某方(復籍為致候間此段及御届候也

年月日

何郡駐在官官姓名殿

何府何國何郡何町何番地
 (族)
 戶主 何 某 印

分家届

何府何國何郡何町何番地住
 (何某同居)
 (族)
 何某(何男)(兄)(弟)(甥)
 (從弟)(附籍)
 何職業
 何年徵兵何兵第何番
 何年(豫備)(後備)役何等卒 何 某

右者今般分家ノ上何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地(何某同居)ニ送籍候間此段及御届候也

年月日

何郡駐在官官姓名殿

戶主 何 某 印
 (族)

(國民兵)異册届

何年何月何日退隱父兄弟...
 家督相續
 何年何月何日父兄弟...
 退隱跡相續
 何年何月何日父兄弟...
 退隱兄弟...誰家督相續

右及御届候也

右戶主

(雜門) (兵部附屬書式)

年月日

何區長戶長姓名殿

何

某

印

一四〇六

結婚届

何(府)(縣)何國何(郡)(區)何町何番地
(族)

何某(何女)(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何夕月

某 儀

今般熟談ノ上右ニ記載之者ト何月何日結婚相遊候間此段及御届候也

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)

年月日

何年徵兵(現役)何兵
第何番
(何年第一豫備徵員)

何

某

印

何府駐在官官姓名殿

離姻届

何(府)(縣)何國何郡何町何番地
(族)(職業)

何某(何女)(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何夕月

右者何年何月何日婚姻濟ノ處今般双方示談ノ上致離姻候間此段御届申候也

何府何國何町何番地

(何某同居)

(族)(戶主)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)

年月日

何年徵兵(現役)
何兵第何番
(何年第一豫備徵員)
何府駐在官官姓名殿

何

某

印

(雜門) (兵事諸願書式)

一四〇七

出生届

右何月何日出生候間此段及御届候也

某何(男)(女)

某

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)(戸主)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)

何年徴兵(現役)何兵

第何番

(何年第一豫備徴員)

何府駐在官官姓名殿

死亡届

何府何國何郡何町何番地

(族)(戸主)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)

何年徴兵(現役)何兵

第何番

(何年第一豫備徴員)

何 某

右之者何々ニ依リ何月何日死亡致候間番號割符相添此段御届申候也

何府何國何郡何町何番地

(族)(職業)

何 某

戸主(木戸主ナ)

(レハ親類)

何府駐在官官姓名殿

年 月 日

(單身寄留)

(旅行)届

今般何々ノ爲メ何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地何某方へ(單身寄留)(旅行)仕候間身元引受證相添此段及御届候也

何府何國何郡何町何番地

(族)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)(附屬)

何年徴兵(現役)何兵

第何番

(何年第一豫備徴員)

何 某

何府駐在官官姓名殿

(雜門)

(兵部御届書式)

(此届ハ現役ニ在テハ五十日間補充員ニ在ハ十日間
第一豫備徵員ニ在テハ十五日以内ニ往復スルヲ
爲シ得ル地ニ旅行單身寄留スル者ニ限ル)

(現役兵) (單身寄留) (旅行) 願
(第一豫備徵員)

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)(戶主)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)(附籍)

何職業

何年徵兵(現役) 何兵第何番

何 某

(何年第一豫備徵員)

右ハ何々ノ爲メ何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何(府)(縣)(何國何(郡)(區)何(町)(村)何
番地何某方ニ(單身寄留)(旅行)爲致度候間御許可相成度身元引受證書相添此段奉願候也

何府何國何郡何町何番地

(族)

年月日

何 某 印

何々鐵臺後備軍司令官官姓名殿

(現役兵) 歸郷届
(補充員) (第一豫備徵員)

何府何國何郡何町何番地

(何某同居)

(族)(戶主)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)(附籍)

何職業

何年徵兵(現役) 何兵第何番

何 某

(何年第一豫備徵員)

右ハ(願)(届)濟ノ上何(府)(縣)何國何(郡)(區)何(町)(村)何番地何某方ニ(單身寄留)(族
行)爲致度候處何年何月何日歸郷致候間此段及御届候也

何府何國何郡何町何番地

(族)

戶主

(雜門)

(兵事諸願届書式)

年月日

何 某 印

一四二二

何縣駐在官官姓名殿

身元證書下付願

何郡何町何番地(住)(寄留)

何(府)(縣)(族)

何某(何女)(姉)(妹)

某

何年何月何日生

右ハ今般(陸)(海)軍何官何某ト結婚爲致度候ニ付本人行狀端正ナル儀ハ親戚ニ於テモ保證致候間身元證書御下付相成度此段奉願候也

年月日

右戸主 何 某 印

何郡何町何番地

(族)

何 某 印

何郡區長戸長姓名殿

親戚

結婚願

何縣何國何郡何町何番地

(族)(職業)

何某(何女)(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何年何月何ヶ月

某 儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト(ハ入夫)(ハ翌養子)結婚致シ度依テ別紙身元證書相添指出候間御許容被下度此段奉願候也

年月日

何縣何國何郡何町何番地

何 某 印

何年徵兵何兵第何番
何年(豫備)(後備)役何等卒

何々鎮營司令官官爵姓名殿

婚姻濟用

何縣何國何郡何町何番地

(族)(職業)

何某(何女)(姉)(妹)

(雜門) (兵庫器願屆書式)

一四二三

某

何年何月何日生
何年何月何日生
何年何月何日生

某 儀

何年何月何日御許可相成候ニ付何年何月何日(入夫)(翌養子)婚姻相整候間此段御届申上候也

年月日

何年徵兵何兵第何番

何縣何國何區何町何番地

何年(豫備)(後備)役何等卒

何 某 印

何々鐵寮司令官官爵姓名殿

離届

何縣何國何區何町何番地

(族)職業

何某(何女)(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何日生
何年何月何日生

右ハ何年何月何日婚姻濟ノ處今般示談ノ上致離届候間此段御届申上候也

何縣何國何區何町何番地

何年徵兵何兵第何番

何 某 印

何年(豫備)(後備)役何等卒

何縣駐在官官姓名殿

死亡届

何縣何國何區何町何番地

何年徵兵何兵第何番

何 某

何年(豫備)(後備)役何等卒

右之者何々ニ依リ何月何日死亡致シ候間(番號割符相添)此段御届申候也

何縣何國何區何町何番地住

(族)職業

戶主(本人戸主+)
親族) 何 某 印

年月日

何縣駐在官官姓名殿

逃亡失踪届

何縣何國何區何町何番地住

何年徵兵何兵第何番

何 某

何年(豫備)(後備)役何等卒

(雜門)

(兵部諸願届書式)

右之者何年何月何日家出、儘今ニ歸宅不致候ニ付(逃亡)(失踪)ト見認候間此段御届申候也

年月日

何府何國何郡何町何番地住

戸主(木戸主ナ)何

何區駐官官姓名殿

兵籍送願

今般第何軍管々下何(府)(縣)何國何(郡)(區)何(町)(村)何番地(何某同居)(轉籍)(全戸寄留)仕候間兵籍御送附和成度此段願候也

年月日

何縣何國何郡何町何番地

何年徵兵何兵第何番

何 某 印

何々鎮營後備軍司令官官姓名殿

旅行届

今般何々ノ爲メ何月何日ヨリ何年何月何日マテ何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地何某方へ罷越候間此段御届申候也

何縣何國何郡何町何番地住

年月日

何年徵兵何兵第何番

何 某 印

何區駐在官官姓名殿

(單身寄留)(旅行)願

今般何々ノ爲メ何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何軍管下何(府)(縣)何國何(郡)(區)何(町)(村)何番地何某方へ(單身寄留)(旅行)仕度候間別紙身元引受人證書相添此段奉願候也

某 儀

何縣何國何郡何町何番地住

年月日

何年徵兵何兵第何番

何 某 印

何々鎮營後備軍司令官官姓名殿

歸京届

某 儀

何々ノ爲メ(願)届濟ノ上何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地何某方へ(全戸寄留)(單身寄留)(旅行)致居候處何年何月何日歸京致候間此段御届申候也

何縣何國何郡何町何番地住

(雜門) (兵車路御届書式)

年月日 何年徵兵何兵第何番
何年(豫備)(後備)役何等卒 何
何區駐在官官姓名服

歸鄉屆

某 備

何年何月ヨリ(何々召集ノ爲メ)何兵何聯隊何中隊ニ入營罷在候處何年何月何日(歸休被命)
(除隊)(解散)被命何月何日歸郷致候間此段御届申候也

年月日 何年徵兵何兵第何番
何年(豫備)(後備)役何等卒 何
何縣何國何郡何町何番地住
何縣府駐在官官姓名服

身元引受證書

何府何國何郡何町何番地住
(族)職業
何某(何男)(兄)(弟)(甥)(從弟)
何年徵兵何兵第何番
何年(豫備)(後備)役何等卒 何 某

右者私何々ノ處何々ノ爲メ何(府)(縣)何(郡)(區)何(町)(村)何番地何某方(單身寄留)
(旅行)致候ニ就テハ不在中何事ニ限テス諸事引受無通滞本人ニ通達可仕候也
何府何國何郡何町何番地
年月日 戸主(親族) 何 某 印

軍管内寄留地ヨリ召集願

某 備

今般何(府)(縣)何(郡)(區)何町何村番地ハ單身寄留致候間召集ノ節ハ寄留地ヨリ直チニ召
集ニ應シ度候間別紙身元引受證書相添此段奉願候也

年月日 何年徵兵何兵第何番
何年(豫備)(後備)役何等卒 何 某 印
何々鎮營後備軍司令官官姓名服

軍管外寄留地ヨリ召集願

今般何々ノ爲メ何年何月何日ヨリ何年何月何日ヲ第何軍管下何(府)(縣)何(郡)(區)何
(雜問) (兵中附屬書式)

(町)(村)何番地何某方(單身寄留)(旅行)仕度就テハ召集ノ節ハ寄留地旅行先ヨリ直ニ召集ニ應シ度別紙身元引受證書相添此段奉願候也

一四三〇

年月日

何年徵兵何兵第何番
何年(豫備)(後備)役何等卒 何
何々鎮臺後備軍司令官官姓名殿

徵兵寄留地ニ於テ徵集願

何府何國何郡何町何番地

(族)(戶主)

何某(何男)(兄)(弟)(從弟)

(甥)(附籍)

何 某

何年何月何日生

右者本年徵兵適齡之處何郡何町何番地(何某方)ニ寄留致居候ニ付寄留地ニ於テ徵集被成下度此段奉願候也

右戶主

何 某

年月日

何縣知事簽姓名殿

身元引受人 何

某

何縣何郡何町何番地

(族)

徵兵寄留徵集願濟届

何縣何郡何町何番地

(何某方寄留)

何縣(族)

何某(何男)(兄)(弟)(甥)

(從弟)(附籍)

何 某

何年何月何日生

右ハ本年徵兵適齡ノ處寄留地ニ於テ徵集相成度旨本管願ニ出願許可相成候間此段及御届候也

右

年月日

何 某

(雜門) (兵庫縣願届書式)

一四三一

何郡何町何番地

(族)

何

某

印

何郡長戸長姓名殿

徵兵適齡御届

身元引受人

何府何國何郡何町何番地(何某方)寄留
何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番
地住

(族)職業

何

某

何年何月何日生

右私(何男)(兄)(弟)(甥)(叔伯父)ニテ本年何月二十歳ト相成候間此段及御届候也

(此届書ハ專テ寄留地ニ於
テ徵集ニ應スル者ニ用ユ)

右私(從弟)(附屬)

何府何國何郡何町何番地(何某方)

(寄留)

(族)

戸主

何

某

年月日

何年何月何日生

(右戸主當地不在ニ付代理
何郡(區)何町(村)但番地)

何

某

印

何郡長戸長姓名殿

(戸主所在地遠路ニシテ届出ニ際シ
印致シ難キハ下配ノ通配入スヘシ)

○特別廉價發賣廣告

大審院刑事第一局長從四位勳四等判事西岡逾明公題字
代言士角田眞平先生序文 ○山田正賢先生著述

○刑法析義

全四卷 定價金四圓七拾五錢

○第壹之卷製本落成ス○定價金壹圓○遞送費全國一般弊店自辦本書紙數
四百七十一ペーシ製本ハ黒一ッロス一綴背革金文字入最上等ノ美製本○
送金順次ニ依リ送本ス○貳之卷以下近刻
人ノ刑法ヲ釋クヤ久シ焉微ヲ探リ玄ヲ鈞メ殆ント到ラザル處ナシ然リト
雖事物悠久ヲ經過スルニ於テ之ガ停滯腐敗ヲ免カル、能ハサルハ自然ノ
條理ナレバ我邦刑法社會ニ在ツテモ亦此弊ナキヲ保セス此際ニ當ツテ宜
シク風浪ノ以テ變動セシムルモノナカルヘシカラス先生此著書ハ蓋シ日
本刑法社會ノ狂波怒濤ト謂フベキナリ且ツ夫レ法理實用ニ躰テ全フシ宮
城堀田井上江木諸氏ノ說ヲ批難評論シ盡シテ餘カザルモノナリ苟モ刑
法ヲ學ビ之レヲ活用スルモノ欠クベカラザル良書ナリ故ニ大方ノ諸彦陸
續購讀アラソク伏シテ乞フ
東京府橋區南紺屋町七番地
發行所 神戶 甲子 二郎

明治廿一年四月五日印刷
明治廿二年四月日發行

明治廿一年四月五日印刷
同 年四月十六日出版

定價金二圓

發行者

東京府平民

石塚徳次郎

麹町區麹町三丁目
十九番地

同

同

山中孝之助

京橋區銀座二丁目
九番地

印刷者

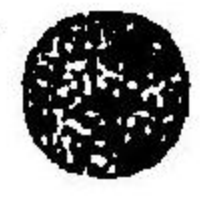
新潟縣士族

澁谷信次郎

京橋區澁山町七番地
瀧關社

DYNAMIC SOCIOLOGY.

哲學專門文學士三宅雄二郎先生講述



社會學

伊達周碩先生筆記

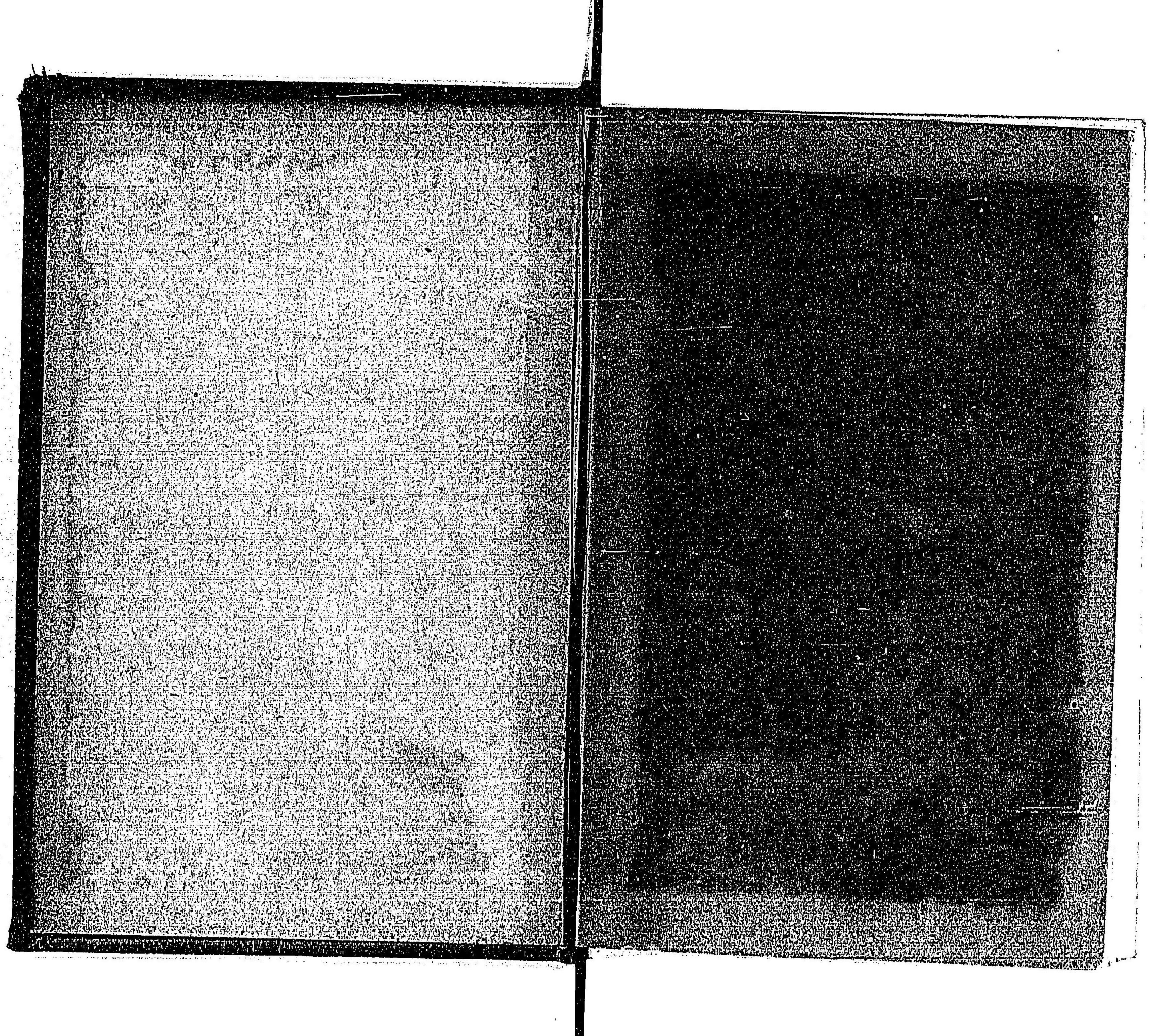
第一卷 正價金五十錢 郵便稅金拾二錢

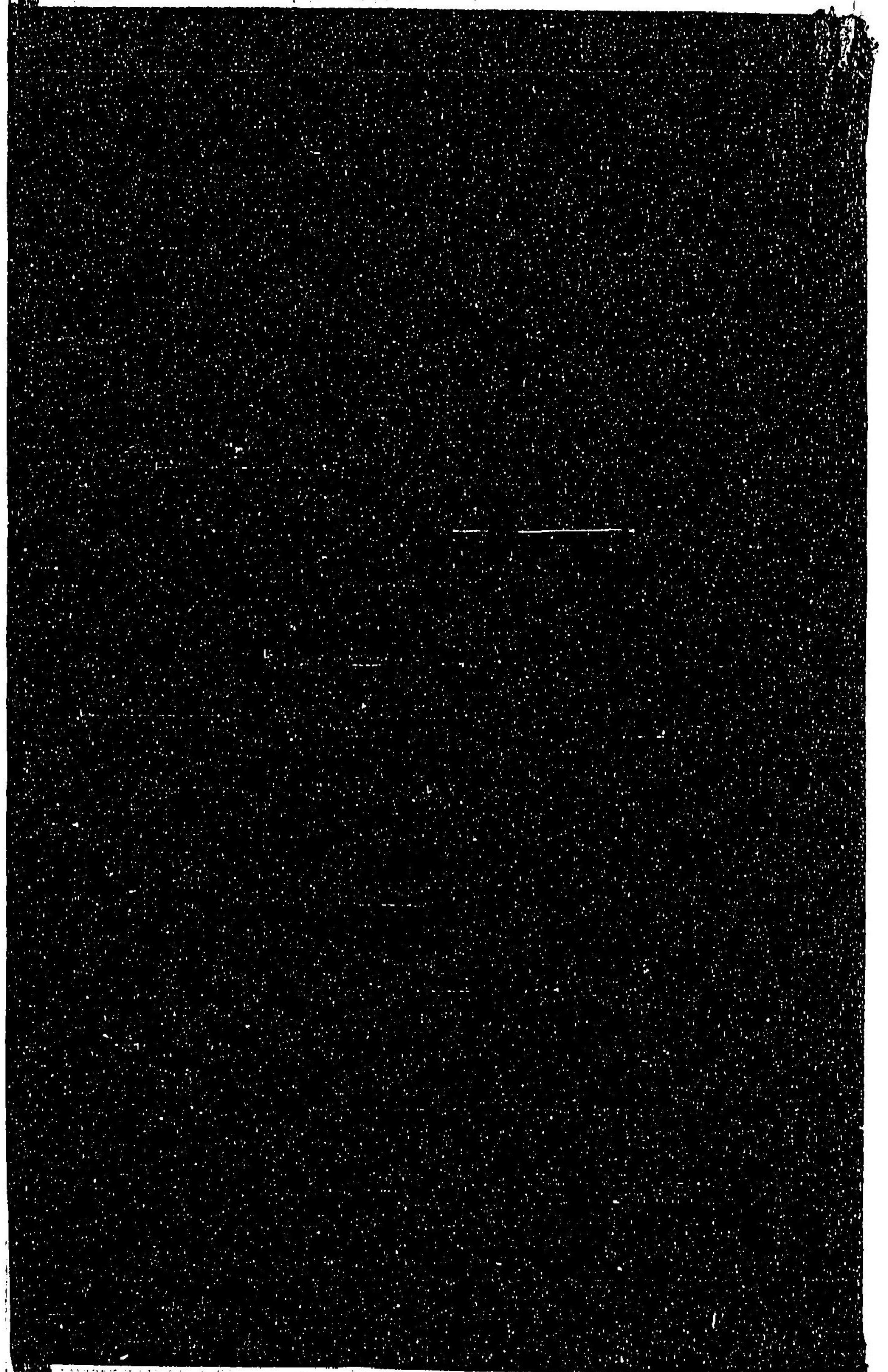
世ニ業務多シ政治ニ法律ニ文學ニ經濟ニ教育ニ農工商ニ其數枚舉ニ
 暇アラス而シテ之ヲ包括シテ論究スル者ハ社會學ナリ斯學ノ起レル
 泰西ト雖モ日猶淺シ況ンヤ我國ニ於テヤ近來スベクナル氏ノ社會
 學大ニ世ニ行ハルハ、**受動的**ニ進ンテ天然ノ秩序ヲ講説スル止マ
 ト雖モ其所謂タルヤ、**活動的**ニシテ天然ノ秩序ヲ講説スルヲ顯ス
 能ハス然ルニワ、**活動的**ニシテ天然ノ秩序ヲ講説スルヲ顯ス
 氏ノ社會學ハ其所謂**活動的**ニシテ天然ノ秩序ヲ講説スルヲ顯ス
 改良セントスルニアリ**其説ノ斬新奇拔ニシテ世人ノ迷夢**
 ヲ覺破スル實ニ驚歎スベキモノアリ弊舖等爰ニ感アリ哲
 二郎先生ニ此書ノ講説ヲ乞ヒ今ヤ第一卷ヲ發行ス本卷載スル所ハ活
 動的學理ノ總論ヲ始メトシ社會學ノ首唱コント及スベクナル氏ノ意
 見ヲ充分**看者ヲシテ一讀ノ下ニ大家ノ卓論ヲ理會シ**
 ニ解説シム苟モ志ヲ須要ノ業務ニ致スノ諸君子ハ請フ
 得セシム此書ヲ愛讀シテ此裨益ヲ採取セラレント

SOCIAL ECONOMY.
 THEORETICALLY AND PRACTICALLY CONSIDERED

政治經濟專門文學士萩原朝之介先生著
 ● 應用 純理 社會 經濟 學

本書ハ先生多年政治經濟ノ專門ニ在テ研究思考セラレタル結果ニシテ經濟學ノ十九世紀ノ今日ニ於テ其發達ヲ極メタル歐米諸碩學及大事業家ノ確論定説ニ基キ社會經濟ノ結構組織ヲ解説シ其機關ノ運轉活動ノ興衰ヲ詳論シ人國貧富強弱ノ由ヲ列ル所以ノ理ヲ究明シ且古今東西ノ形勢事蹟ニ徴シ以テ經濟理論ノ確實ヲ證明スルト共ニ社會人民貧富文明ノ事業計畫ニ對シテ經濟理論ノ實地應用ニ於テ馮據スル所ヲ知ラシメ特ニ本邦適切ナル事項ニ至テハ説論一層ノ精察ヲ加ヘ又其講説ノ方法ニ於テモ特ニ本邦人ノ了解便宜ニ注意シ毫モ讀者ヲシテ隔靴ノ蹊勿ラシメンコトヲ期セリ學者ハ之ニ依テ以テ社會經濟ノ興衰ニ通ズルヲ得ベク農工商ノ實業家ハ之ニ依テ以テ事業計畫ノ方針ヲ得ベキハ勿論其他苟モ社會ノ一員タルベキ人士ハ之ニ依テ以テ其常住不斷須テク知ラザルベカラザル事理ヲ解スルコトヲ得ルニ至ラシク必セリ





禁電子式複写

031014-000-9

CZ-5-099

新編官民必携

長峰 慶三郎

吉田 正列 / 編

M21

BBC-0482



